

250731 カムチャッカ半島付近 M8.8 大地震について



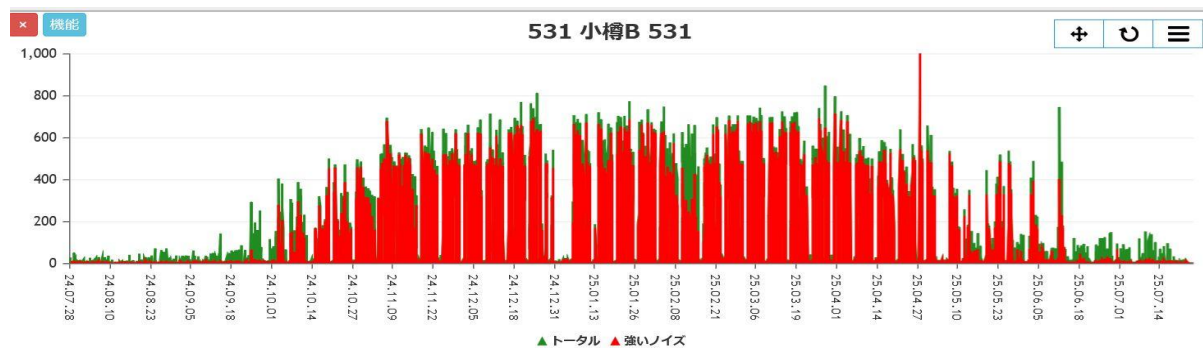
昨日（7/30）カムチャッカ半島付近 M8.8 の大地震が発生し、日本全域に津波が来て、交通機関をはじめ、多大な影響がありました。昨日（7/30）配信した、ゆれくるんの逆ラジオ通信ではタイミング的にこの地震については触れることが出来ませんでした。また北海道等の観測点では M8.8 という巨大地震の前兆は 震源がとても遠くで通常は データは取れないと思われますが【小樽 531】や【釧路】の約 1 年間続いたデータが関連する可能性があります。

まず【小樽 531】の約 1 年間のデータがきれいな山を作って減衰してきて、5～6 月の釧路沖、十勝沖等の M6 クラスの地震が発生しました。しかしその後もデータは反転、上昇せず、さらに減衰していった為、まだ大地震の可能性がある、としたところ 7/20 にカムチャッカ半島付近で M7.0、M7.5 の大地震が発生しました。これは関連がある、と考えましたが、【小樽 531】のデータはそれでも反転、上昇せず、またさらに減衰していった事から、再度大きな地震があり得る、と考えました。そして 7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8 の大地震が発生しました。また【釧路】の約 1 年間続いたデータにも関連が考えられます。

今回は 震源がとても遠くで通常は 前兆データは取れないと思われますが M8.8 という規模の大きさから前兆の電磁波ノイズも大きかった可能性があります。以下に関連すると思われるデータを載せます。

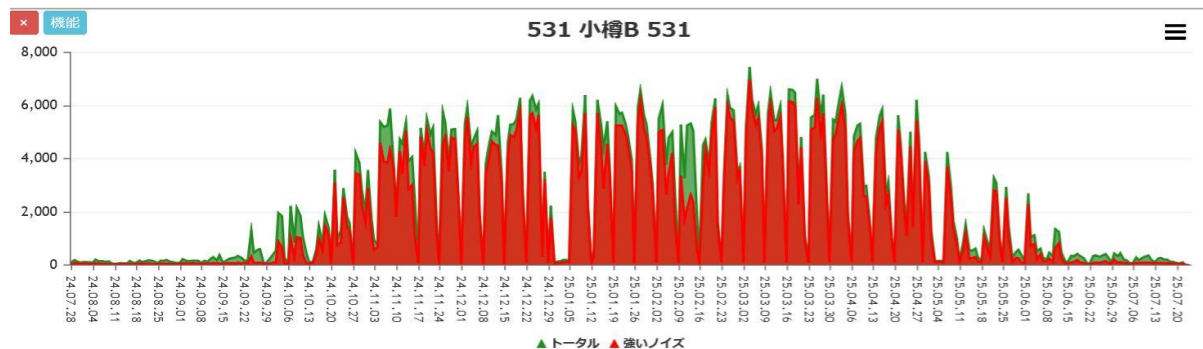
1、【小樽 531】観測点のデータについて 7/23 のお知らせには 北海道の【小樽 531】観測点のデータが、約 1 年間で とてもきれいな山になっています、としています。

【小樽 531】 360 日間データ



特に 時間でなく日毎データにすると山の形がよくわかります。

【小樽 531】 360 日間（日毎）データ

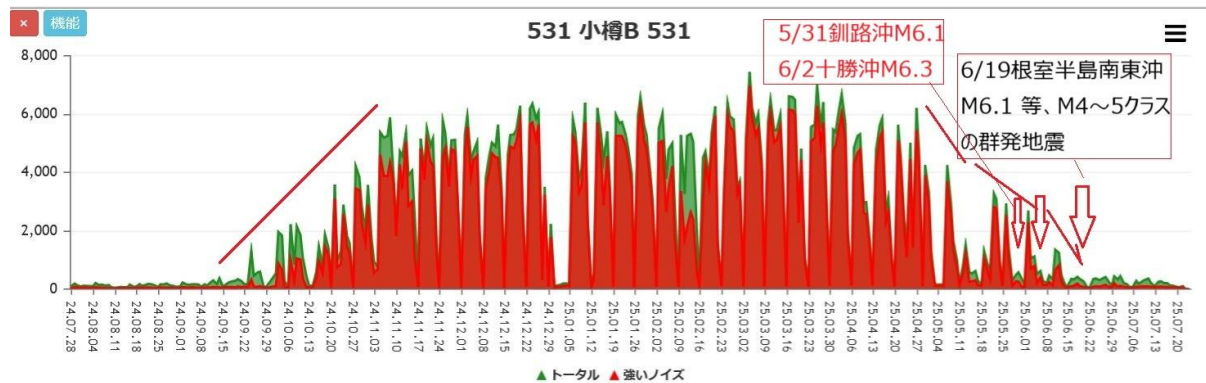


この山が段々と減衰してきて、収束近くなると地震が発生します。

また 6/25 の逆ラジオ通信 No.71 W-250625 では次のように書いています。

>【小樽 531】は長期の日毎データでは約 1 年のきれいな山になって収束してきて、いくつかの地震が
>発生しましたが その後、少し遠方ながら 6/19 根室半島南東沖 M6.1 等、M4～5 クラスの群発
>地震が発生しており、こちらも関連が考えられます。

【小樽 531】 360 日間（日毎）データに発生地震を追加



しかし、【小樽 531】 360 日間の山は、上記も 6/19 根室半島南東沖 M6.1 等と M4～5 クラスの
群発地震が発生した後も、さらに減衰、収束傾向を続けています。7/16 の逆ラジオ通信 No.74
W-250716 には次の様に書いています。

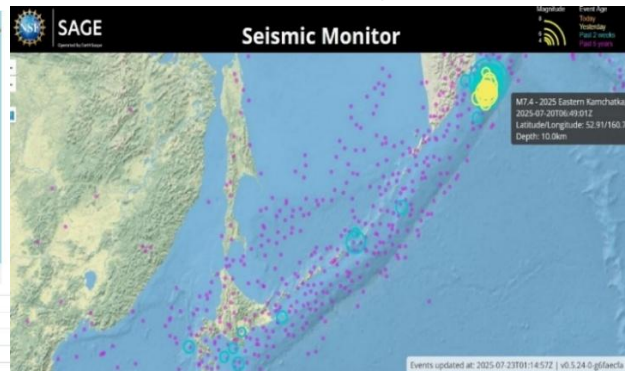
>【小樽 531】は約 1 年の大きな山が減衰して、いくつかの大きな地震が発生した後 反転、上昇して
>おらず このまま静かに推移も考えられますが、念のため、再度大きな地震の可能性にも注意
とした所、遠方ですが、7/15 千島列島 M5.7 や 7/20 カムチャッカ M7.0,M7.5 が発生しました。



7/15 千島列島 M5.7



7/20 カムチャッカ M7.0,M7.5



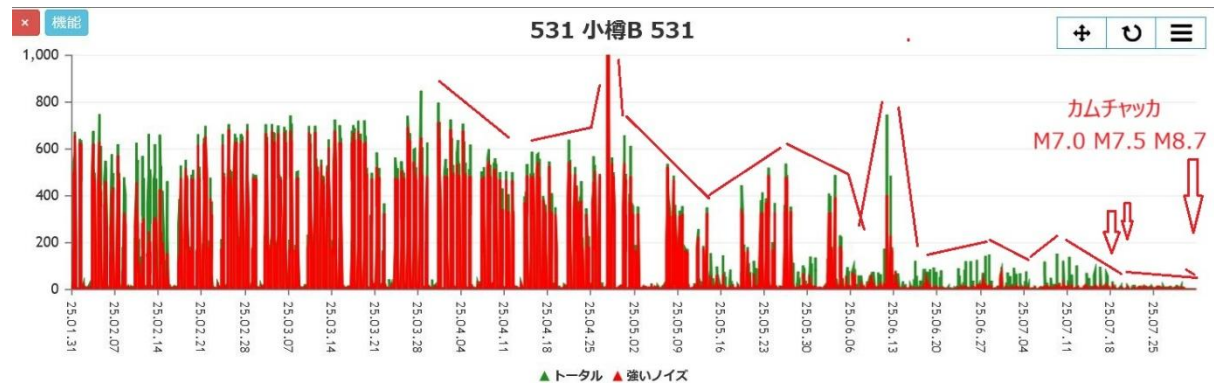
これらの地震は 【小樽 531】からはかなり遠方になりますが、実は遠方の大地震ほど、データ（グラフ）で
きれいな山が出るというケースが多く、一応関連が考えられます。

しかしその後も【小樽 531】のデータは反転、上昇せず、念のため、再度大きな地震の可能性にも注意としていて 7/30 にカムチャッカ半島で M8.8 の大地震が発生し、全国の沿岸に津波警報が出ました。

360 日（日毎）データ



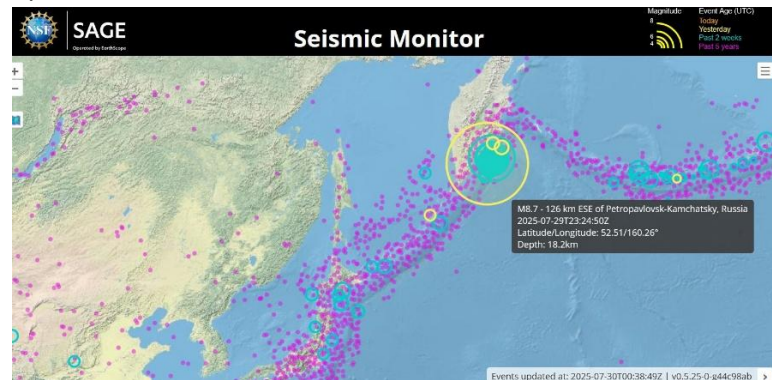
180 日（日毎）データ



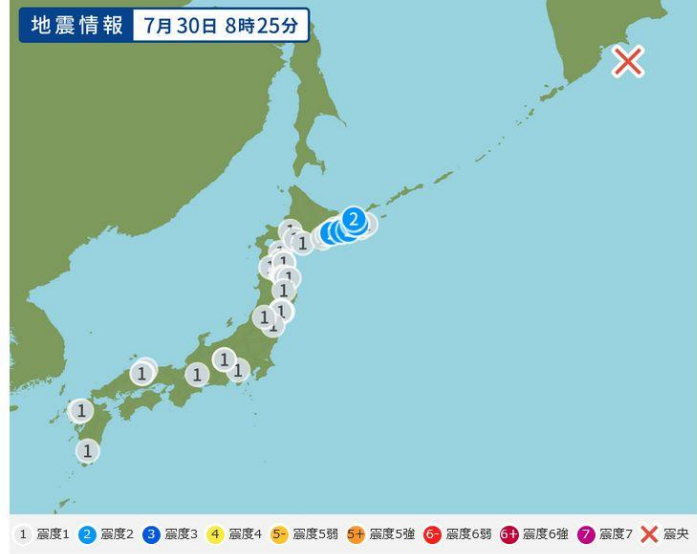
90 日（日毎）データ



7/30 にカムチャッカ半島で M8.8



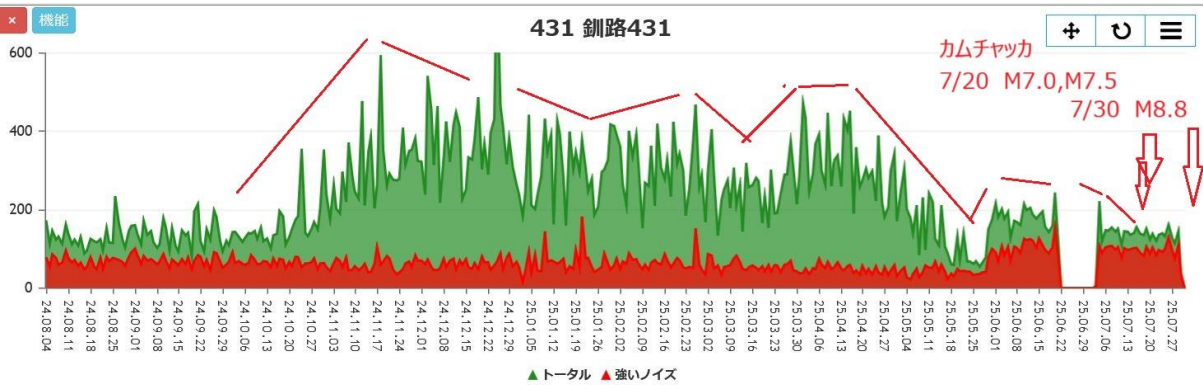
7/30 カムチャッカ半島付近 M8.8



発生時刻	2025年7月30日 8時25分ごろ
震源地	カムチャッカ半島付近
最大震度	2
マグニチュード	8.7
深さ	---
緯度/経度	北緯52.2度/東経160.0度

2, 【釧路】のデータについて 360 日間データでも約 1 年間の異常の後、地震発生になっています。

【釧路】 360 日間（日毎）データ



【釧路】 360 日間（時間毎）データ

